

平成24年2月17日

報道関係 各位

全国環境保全型農業推進会議
事務局 財団法人日本土壌協会

**環境に配慮した農業生産活動に意欲的に取り組む農業者・団体を表彰
「第17回環境保全型農業推進コンクール」の実施結果について
全国から65点の応募、8点が農林水産大臣賞受賞**

全国環境保全型農業推進会議は、平成24年2月17日、「第17回環境保全型農業推進コンクール」（後援：農林水産省等）の各賞受賞者を決定しました。

本コンクールは、有機農業をはじめとする環境保全型農業において、経営や技術の改善に取り組み、農村環境保全を通じて地域社会の発展に貢献している農業者・団体を表彰し、その成果を広く紹介して環境保全と農業に対する国民の理解を深めるために、平成7年度から毎年実施されています。

今年度は全国から65事例の応募があり、うち52事例が各都道府県の環境保全型農業推進協議会等から全国環境保全型農業推進会議に推薦されました。

審査の結果、特に優良と認められる事例8点が「大賞（農林水産大臣賞）」、優良と認められる事例14点が「優秀賞」、今後の展開が期待される事例27点が「奨励賞」、環境保全型農業の推進を支援すると認められる事例3点が「特別賞」として表彰されます。

表彰式は各地方ブロック協議会ごとに開催され、「大賞」には農林水産大臣賞が授与されます(別紙参照)。

○参考ホームページ URL: <http://www.ecofarm-net.jp/04contest/index.html>

以上

【問い合わせ先】 全国環境保全型農業推進会議事務局
財団法人 日本土壌協会 担当：松尾
電話 03-3292-7281 F A X 03-3219-1646
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-58
パピロスビル 6 F

第 17 回 環境保全型農業推進コンクールの審査結果並びに講評

平成 24 年 2 月 17 日

第 17 回環境保全型農業推進コンクールでは、全国から環境保全型農業及び有機農業に取り組む 65 事例の応募があり、うち 52 事例が各都道府県の環境保全型農業推進協議会等から全国環境保全型農業推進会議に推薦されました。これらの推薦事例を審査した結果、特にその取組内容が優良であると認められる事例 8 点を、「大賞」、優良であると認められる事例 14 点を「優秀賞」、今後の展開が期待される事例 27 点を「奨励賞」、環境保全型農業・有機農業の推進を更に促進すると判断される事例 3 点を「特別賞」とすることとしました。

(1) 大賞（農林水産大臣賞）

○ 北海道「中札内村農業協同組合」（環境保全型農業分野）

耕畜連携の地域複合システムによる有機質資源の地域内循環により化学肥料を 5 割以下に削減していること、秋まき小麦の前作に枝豆を導入した 5 年輪作体系の確立により化学合成農薬を 5 割以下に削減していること、村内農家 153 戸のうち 109 戸（71%）がエコファーマー認定を受け地域ぐるみで取り組んでいることが高く評価された。

○ 秋田県「大潟村有機農業推進協議会」（有機農業分野）

干拓地を活かして水稻、大豆、南瓜等を中心に 126 戸で 738 ha の大規模な有機栽培に取り組んでいること、地域内で発生する籾殻、米ぬか、くず大豆に鶏糞や発酵菌を加えた有機質肥料等を活用した土づくりが実践されていること、田んぼの生き物調査等の実施を通じた地域環境の保全に取り組んでいることが高く評価された。

○ 山形県「株式会社 和農日向」（環境保全型農業分野）

大規模な稲ホールクroppサイレージ（稲発酵粗飼料）の作業受託を含む 32ha の作付けによる粗飼料の供給と堆肥供給により資源循環型農業を実践していること、継続的な堆肥投入による土づくりで特別栽培米生産に取り組んでいること、法人として稲作のエコファーマー認定を受けて地域のリーダーとして取り組んでいることが高く評価された。

○ **茨城県「魚住農園」(有機農業分野)**

作物生産と養鶏を組み合わせた有畜複合経営により有機質肥料等の自家生産による土づくりを実践し、作物の安定生産が行われていること、消費者グループとの提携による宅配や協同購入等において生産コストを反映した販路確保の工夫により経営が確立していること、放射性物質への対策に取り組んでいることが高く評価された。

○ **山梨県「財団法人 シルクの里振興公社」(環境保全型農業分野)**

農業集落排水の下水汚泥と生ゴミによる融合コンポスト肥料、畜産農家との協定締結による堆肥供給での土づくりを誘導し、その定着に取り組んでいること、総合的病害虫・雑草管理(I PM)の導入による化学合成農薬を削減していること、当公社が運営する道の駅でエコファーマーが生産した農産物の有利販売に取り組んでいることが高く評価された。

○ **愛知県「愛知東農業協同組合 和牛部会 肉牛部会 酪農部会」
(環境保全型農業分野)**

和牛部会、肉牛部会、酪農部会の3部会と耕種農家との連携協定を結び耕畜連携での土づくりを行い、化学肥料の削減に取り組んでいること、稲ホールクロップサイレージ(稲発酵粗飼料)の導入による水田の多面的機能の維持や遊休農地を活用し放牧場を造成した土地利用により地域環境の保全に取り組んでいることが高く評価された。

○ **長崎県「岩崎 政利」(有機農業分野)**

緑肥を組み込んだ輪作による土づくりにより化学肥料と農薬に頼らない安定的な有機農業経営が確立していること、有機農業に適した在来品種などの自家採種を実践し、種子保存に向けたネットワーク運動のリーダーとしての活動や、消費者交流、食農・環境教育への参画を通じた環境保全型農業の理解増進活動へ積極的に取り組んでいることが高く評価された。

○ **鹿児島県「志布志市茶業振興会 有明支部 有明町茶業振興会」
(環境保全型農業分野)**

茶園の年間窒素施肥量を50kg/10a以下とする目標を設定し、土壌診断結果による適正施肥や点滴施肥等により削減していること、総合的病害虫・雑草管理(I PM)の研究会を設立し実証ほ場の設置・展示等により農薬散布回数を県の慣行基準の3割減や年間農薬使用量2割減を達成したこと、小中学校生との交流等に取り組んでいることが高く評価された。

(2) 優秀賞

(全国環境保全型農業推進会議会長賞・全国農業協同組合中央会会長賞)

「大賞」に続き、有機農業をはじめとする環境保全型農業の実践、経営の確立、地域の有機資源の利活用、消費者との交流、食育の充実、地域の活性化への貢献等に積極的に取り組んでいる点などを評価して、14点を選定した。

(3) 奨励賞

環境保全型農業及び有機農業に積極的に取り組んでおり、今後の一層の取組強化が期待される点を評価して27点を選定した。

(4) 特別賞

環境保全型農業・有機農業の推進を更に促進すると判断される点を評価して3点を選定した。

以上

第 17 回環境保全型農業推進コンクール 受賞者一覧

表彰	ブロック	都道府県	名称
大賞（農林水産大臣賞）			
計 8 点	北海道	北海道	中札内村農業協同組合
	東北	秋田	大潟村有機農業推進協議会
	東北	山形	株式会社 和農日向
	関東	茨城	魚住農園
	関東	山梨	財団法人 シルクの里振興公社
	東海	愛知	愛知東農業協同組合 和牛部会 肉牛部会 酪農部会
	九州・沖縄	長崎	岩崎 政利
	九州・沖縄	鹿児島	志布志市茶業振興会有明支部有明町茶業振興会
優秀賞（全国環境保全型農業推進会議会長賞）			
計 12 点	東北	宮城	上原酪農組合
	東北	山形	農事組合法人 山形おきたま産直センター
	関東	千葉	有限会社 ブライトピック千葉
	関東	静岡	掛川市農業活性化やる気塾東山地域塾
	北陸	石川	グリーンアース河北潟
	東海	三重	有限会社 類農園三重農場
	近畿	京都	株式会社 エチエ農産
	近畿	兵庫	農事組合法人 坂本営農組合
	中国・四国	島根	いわみ地方有機野菜の会
	中国・四国	岡山	庄地区無農薬研究会
	中国・四国	愛媛	愛媛有機農産生活協同組合
	九州・沖縄	熊本	大島営農組合
優秀賞（全国農業協同組合中央会会長賞）			
計 2 点	関東	群馬	高崎市農業協同組合
	近畿	滋賀	レーク大津農業協同組合はなふじ米生産グループ
奨励賞（全国環境保全型農業推進会議会長賞）			
計 27 点	東北	青森	新田そば生産組合
	東北	岩手	アレフ省農薬米生産者協議会
	東北	岩手	友陸地域資源保全会
	東北	福島	いわき市農業協同組合梨部会
	関東	栃木	白鳥緑と水辺の郷
	関東	埼玉	埼玉ひびきの農業協同組合上里一元出荷協議会露地部会・有機 J A S 部会
	関東	神奈川	有限会社 ジョイファーム小田原

奨励賞（全国環境保全型農業推進会議会長賞） 続き	関東	長野	有限会社 アップルファームさみず
	関東	長野	有限会社 まごころ・ふれあい農園
	北陸	新潟	有限会社 サンライス魚沼
	北陸	新潟	佐々木 邦基
	北陸	福井	若狭イチジク生産協議会
	東海	岐阜	有限会社 天湖森いじら
	近畿	京都	農事組合法人 木喰の郷もろはた
	近畿	大阪	光久農園 光久 隆晴
	近畿	兵庫	農事組合法人 河谷宮農組合
	近畿	奈良	弁財天環境保全会
	近畿	和歌山	紀州大地の会
	中国・四国	島根	農事組合法人 はね宮農組合
	中国・四国	徳島	海陽町元気になる「和」元気農業研究会
	中国・四国	香川	東谷農村環境保全集団
	中国・四国	愛媛	松山市農協 白葱部会
	中国・四国	愛媛	菊池 正晴
	九州・沖縄	長崎	瀬道エコグリーン隊
	九州・沖縄	大分	大分県農業協同組合 県南柑橘レモン研究会
	九州・沖縄	鹿児島	農業生産法人 株式会社 エコ・スマイル
	九州・沖縄	沖縄	沖縄県農業協同組合 宮古地区野菜・果樹生産出荷連絡協議会 ゴーヤー専門部会
特別賞（全国環境保全型農業推進会議会長賞）			
計 3点	関東	神奈川	生活協同組合連合会 ユーコープ事業連合
	関東	山梨	生活協同組合 パルシステム山梨
	中国・四国	岡山	生活協同組合 おかやまコープ

合計 52 点

第17回環境保全型農業推進コンクール審査委員会 審査委員名簿

(50音順・敬称略)

氏名	所属・役職
松本 聰 (委員長)	財団法人 日本土壌協会会長 東京大学名誉教授
あん・まくどなるど	国際連合大学高等研究所いしかわ・かなざわ オペレーティング・ユニット所長
内山 和夫	日本生活協同組合連合会 会員支援本部 産直グループリーダー
大西 茂志	全国農業協同組合中央会 常務理事
佐々木 陽悦	農業者 全国エコファーマーネットワーク会長
中島 紀一	茨城大学 農学部 教授
野見山 敏雄	東京農工大学大学院 農学研究院 教授

第17回環境保全型農業進コンクール 表彰式日程

ブロック	日 時	会 場
北海道	3月7日(水) 13:00～	J A北農ビル北農ビル19階第1～4会議室 住所：北海道札幌市中央区北4条西1丁目 (表彰式に引き続き、事例発表、基調講演等が行われます。)
東 北	3月23日(金) 13:00～	仙台第二合同庁舎2階共用会議室 住所：仙台市青葉区本町3-23-23 (表彰式に引き続き、事例発表、講演等が行われます。)
関 東	3月13日(火) 13:30～	さいたま新都心合同庁舎2号館共用中研修室5B 住所：埼玉県さいたま市中央区新都心2-1 (表彰式に引き続き、事例発表会が行われます。)
北 陸	3月12日(月) 13:15～	金沢広坂合同庁舎大会議室 住所：金沢市広坂2丁目2番60号 (表彰式に引き続き、事例発表、講演等が行われます。)
東 海	3月27日(火) 14:00～	東海農政局 住所：名古屋市中区三の丸1-2-2 (表彰式に引き続き、意見交換会等が行われます。)
近 畿	3月26日(月) 13:15～	ホテル ルビノ京都堀川 平安の間 住所：京都市上京区東堀川通下長者町 (表彰式に引き続き、事例発表、パネルディスカッションが行われます。)
中国四国	3月23日(金) 11:20～	メルパルク岡山 泰平の間 住所：岡山市北区桑田町1-13 (表彰式の後、基調講演、事例発表、パネルディスカッションが行われます。)
九州沖縄	3月15日(木) 13:30～	長崎市市民生活プラザホール 住所：長崎市築町3-18 (表彰式に引き続き、事例発表、基調講演等が行われます。)